

日本災害情報学会 20 周年記念大会・日本災害復興学会 10 周年記念大会・合同大会に  
参加しました(2018/10/26-28)

テーマ：災害復興，災害情報  
場所：東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）

10月26日(金)～28日(日)の3日間、「日本災害情報学会20周年記念大会・日本災害復興学会10周年記念大会・合同大会」が開催されました（主催：日本災害情報学会，日本災害復興学会）。今年は，それぞれ20周年，10周年を迎えたため，合同での記念大会となりました。当研究所からは，分科会2件，口頭発表5件，ポスター発表1件，緊急報告1件で，計10件の研究発表を行いました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

- 分科会「東日本大震災からの東北復興を考える」  
定池祐季：河北新報による他の津波被災地の切り取り方—奥尻島を例に—  
佐藤翔輔：災害復興の学術的ものさしからみる東北の復興過程
- 口頭発表  
佐藤翔輔，今村文彦：2018年西日本豪雨災害における「#救助」ツイートの傾向：2017年7月九州北部豪雨災害との比較  
杉浦元亮ら：正常性バイアスのシレンマを検証する：東日本大震災津波避難データと感情制御脳科学の視点  
佐藤翔輔，川島秀一，今村文彦：東日本大震災における震災遺構の成立に関する比較研究—仙台市と気仙沼市を事例にして—  
宇田川真之，定池祐季ら：平常時の避難行動意図の規定要因について—和歌山県と静岡県の調査結果から—  
定池祐季：地方紙における被災地報道の変化—北海道南西沖地震に関する北海道新聞の報道から—
- ポスター発表  
佐藤翔輔ら：「全国統一防災模試」による防災意識の啓発と国民の災害対応知識の見える化：地震災害編
- 緊急報告（日本災害情報学会緊急企画「台風21号、北海道胆振東部地震」特別セッション）  
定池祐季：北海道胆振東部地震厚真町支援の現場から

著者名は，筆頭者と研究所構成員のみ記載。下線は研究所構成員。



杉浦元亮教授



分科会の様子（定池祐季助教ほか参加）



佐藤翔輔准教授

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）